

11. バンドエイドの誕生

皆さんは、バンドエイドを知っていますか。けがをしたときに貼る、あれです。今ではどこの家にでもあるバンドエイドは、ある男性の、妻への優しさから生まれました。さて、バンドエイドはどうやって生まれたのでしょうか。

1920 年、アール・ディクソンは、アメリカのニュージャージー州にあるジョンソン・エンド・ジョンソン(Johnson& Johnson)という会社で働いていました。ディクソンは数年前に結婚して、二人の小さい子どもがいました。彼の妻は毎日家の掃除をして、おいしい晩ご飯を作りました。ディクソンは、妻にとっても感謝していましたが、一つ心配なことがありました。それは、妻が掃除や料理をするときに、よくやけどをしたり、けがをしたりすることです。

ある日、妻のけがを心配したディクソンは、いいことを考えました。彼は、医療用テープを取り出して、それを伸ばしました。そして、小さく切ったガーゼをその上に並べていって、最後に全体を布で覆いました。けがをしたときに、ガーゼの付いているテープを切って布を取れば、すぐに使うことができます。これがバンドエイドのアイデアになりました。

ディクソンがこのアイデアを会社の仲間に話すと、仲間の一人が上司に話した方がいいとアドバイスしてくれました。。そこで、ディクソンはこのアイデアをジェームズ・ジョンソン社長に話しました。社長はとても素晴らしいアイデアだと言って、すぐに商品にしました。そして、この商品はバンドエイド(Band-aid)という名前になりました。最初のバンドエイドは全部手作りでした。サイズは、幅が約6.4cm、長さが約45.7cm でした。いいアイデアでしたが、最初のバンドエイドは、あまり売れませんでした。

しかし^{すうねんご}数年後、ジョンソン・エンド・ジョンソンは、バンドエイドのサイズを小さくして、幅^{はば}を約1.9cm、長さ^{やく}を約 7.6cm にしました。さらに、バンドエイドの^{つつ}包み紙^{がみ}を開けるために、赤い糸を付けました。すると、急に売り上げが上がりました。

その後、他のサイズのものを作ったり、テープに穴を開けて^{くうき}空気が入るようにしたりしました。1939 年には、^{かんぜんめっきん}完全滅菌になり、1951 年にはマンガのキャラクターが描いてあるもの、1958 年には、^{とうめい}透明なテープを使ったものが発売されました。

バンドエイドが有名になった一番大きな^{できごと}出来事は、^{だいに じせかい たいせん}第二次世界大戦のとき、軍隊にバンドエイドを^{むりよう}無料で^{たいりよう}大量に^{くぼ}配ったことでした。バンドエイドはジョンソン・エンド・ジョンソンの商品だけの名前です。しかし、バンドエイドの名前がとても有名になったので、他の会社の似ている商品もバンドエイドと呼ばれるようになりました。

ジョンソン・エンド・ジョンソンでは、これまでに 1,000 億枚以上のバンドエイドを作りました。ディクソンはバンドエイドのアイデアを会社に^{ゆず}譲りましたが、会社からお金をもらいませんでした。しかし、彼はすぐに出世して、^{ふくしゃちょう}副社長にまでなりました。

ディクソンの奥さんは、いつけがをしても大丈夫なように、いろいろな^{しゅるい}種類のバンドエイドを家に置いています。それは、アメリカのどの家庭でも同じです。ディクソンの妻への優しさが、アメリカ中の家庭にバンドエイドを届けたのでした。

単語リスト：

バンドエイド Urgo băng vết thương
掃除（そうじ）Dọn dẹp, làm vệ sinh
医療用（いりようよう）Băng y tế
ガーゼ Miếng gạc
布で覆う（ぬのでおおう）Bọc lại bằng vải
売り上げ（うりあげ）Doanh thu

完全滅菌（かんぜんめっきん）Khử trùng hoàn toàn
透明な（とうめいな）Trong suốt
第二次世界大戦（だいに じせかい たいせん）Chiến tranh thế giới thứ II
軍隊（ぐんたい）Quân đội
譲る（ゆずる）Nhượng lại
出世する（しゅっせする）Thăng tiến